

ホテル雅叙園東京

川崎景太×百段階段

～過去の扉を開き未来の鍵を探す 異次元の花世界～

2020年3月27日(金)～4月12日(日) 東京都指定有形文化財「百段階段」にて

日本美のミュージアムホテル、ホテル雅叙園東京(所在地:東京都目黒区 / 総支配人:吉澤真一郎)では、2020年3月27日(金)から4月12日(日)までの17日間限定で「川崎景太×百段階段」を、館内にある東京都指定有形文化財「百段階段」にて開催いたします。国内外で活躍するフラワーアーティスト川崎景太氏による文化財を舞台としたフラワーアレンジメントによるインスタレーションで大胆かつ繊細な空間装飾をお楽しみいただけます。芽吹きの中春にふさわしい世界をさくらの名所として知られる目黒川とともにご堪能ください。



生きている花屏風(春)



雨季の色変化

開催にあたって メッセージ

江戸文化に属する伝統美を持ち備えている百段階段のたたずまいは、時の流れと共に成熟美を帯び、優雅な魅力の数々を私たちのところに放ち感動を与えてくれる。もしこの空間に令和に咲いた花々が訪れ、いまだ見ぬ未来のポジティブなハーモニーを、お互いが力を合わせ奏でることが出来たなら、さぞかし幸せであろう。そんな思いを込め「時空を超えた花物語」を創造してみた。

フラワーアーティスト 川崎景太 プロフィール

現代のフラワーデザイン界を牽引し続けながら、さまざまなジャンルの中で暮らしに息づく「新・花文化」を提唱し、花の創造を通して「生きとし生けるもの」の大切さを物語る独自のスタイルを確立。大胆な空間インスタレーション・ディスプレイにおいても数々の賞を受賞。様々なテレビ番組や雑誌への出演のほか、音楽プロデューサーや絵画、執筆活動の他、アパレル・建築・インテリア業界とのコラボレーションも実現している。



川崎景太×百段階段 ～過去の扉を開き未来の鍵を探す 異次元の花世界～ 概要

展覧会名：川崎景太×百段階段 ～過去の扉を開き未来の鍵を探す 異次元の花世界～

開催期間：2020年3月27日(金)～4月12日(日) ※会期中無休

開催時間：10:00～17:00(最終入館 16:30)

※撮影可能 (三脚・フラッシュの使用及び、商業目的の撮影はご遠慮ください。一部撮影不可)

入場料：当日 1,600円、特別前売 1,100円※3月26日まで館内(16:30)及び公式オンラインチケットで販売
大学生・高校生 1,000円、中学生・小学生 600円※要学生証呈示、未就学児無料

会場：ホテル雅叙園東京

お問合せ：03-5434-3140(イベント企画 10:00～18:00)

<https://www.hotelgajoen-tokyo.com/100event/kawasaki>

主催：ホテル雅叙園東京

後援：目黒区・一般社団法人めぐろ観光まちづくり協会・講談社・花卉園芸新聞社

企画：KTION

特別協力：マミフラワーデザインスクール

制作：東映

協賛：そめの近江

協力：伊藤忠モードパル・横浜ディスプレイミュージアム・アンナサッカ東京・東京堂・JA 全農岐阜・
はなどんやアソシエ・ROSE GALLERY

販売窓口：ホテル雅叙園東京及び、公式オンラインチケット

ローソンチケット(Lコード:32293)、セブンチケット(セブンコード:081141)、JTB 各店・JTB レジャーチケット(セブンイレブン・ローソン・ファミリーマート・サークル K サンクス)

[インターネット]イープラス・楽天チケット



東京都指定有形文化財

「百段階段」

HYAKUDAN KAIDAN
(Registered Tangible Cultural Property of Tokyo)

「百段階段」とは通称で、ホテル雅叙園東京の前身である目黒雅叙園3号館にあたり、1935(昭和10)年に建てられた当館で現存する唯一の木造建築です。食事を楽しみ、晴れやかな宴が行われた7部屋を、99段の長い階段廊下が繋いでいます。階段は厚さ約5cmのケヤキ板を使用。階段で結ばれた各部屋はそれぞれ趣向が異なり、各部屋の天井や欄間には、当時屈指の著名な画家達が創り上げた美の世界が描かれています。

<本件に関する報道関係者からのお問合せ>

ホテル雅叙園東京 広報担当 安達、川中

T E L:03-5434-3832/F A X:03-5434-3147

E-mail : press@hotelgajoen-tokyo.com